

## 2016年度研究助成 テーマと助成額

### 1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金
埼玉	国立障害者リハビリテーションセンター病院 言語聴覚士	アガエヒロミ 東江 浩美 自閉症スペクトラム障害をあわせもつ視覚障害児への言語・コミュニケーション支援 -学校への触覚的記号を用いたAAC導入-	50
東京	筑波大学 准教授	イタ' ジュンコ 飯田 順子 高等学校における「学校全体メンタルヘルススクリーニング」の実践 -各学校の援助ニーズの把握とそれを踏まえたコンサルテーションのために-	50
神奈川	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部看護学科 准教授	イセトシオ 伊関 敏男 児童・思春期精神科病棟における院内学級の在り方 -院内学級における看護職と教職員の認識-	50
千葉	千葉大学 総合安全衛生管理機構 准教授	オオニトシユキ 大溪 俊幸 自閉症スペクトラム障害における社会性と注意の切り替えに関連する脳活動について -社会性に関連する注視点の動きと注意制御課題中の脳活動についての検討-	50
大阪	大阪教育大学 教育学部 教授	カホリ ユウジ 金森 裕治 読み書きに困難のある児童に対するデジタル教材におけるハイライト機能の効果について -音読時の視機能の評価を通して-	50
東京	帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 客員准教授	サキサカ カヨ 崎坂 香屋子 発災5年目の東日本大震災被災者の生活環境の変化とこころの健康に関する研究 -岩手県陸前高田市仮設住宅住民を対象として:熊本地震に活かせる知見とは何か-	50
徳島	徳島大学大学院 総合科学研究部 准教授	サウ ユタカ 佐藤 裕 小学生の読みにおける音韻処理の発達的变化 -語彙判断・押韻判断における脳処理からの検討-	50
東京	白百合女子大学大学院 文学研究科 大学院生	センサキ ミエ 千崎 美恵 育児被害感情による子育て困難感を示す母親の臨床研究	50
愛知	名古屋第二赤十字病院 医師	ナガイ ユキヨ 永井 幸代 早産児の睡眠-覚醒リズムの確立と社会性の発達	50
東京	国立精神・神経医療研究センター病院 第二精神科 医長	ノグ' タカサ 野田 隆政 Behavior Rating Inventory of Executive Function (BRIEF) 日本語版の信頼性および妥当性の検討	50
埼玉	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 流動研究員	フクイ タカオ 福井 隆雄 自閉症者の「不器用さ・ぎこちなさ」に関する三次元動作解析による運動学的検討 -到達把持動作に着目して-	50
東京	東京医科歯科大学 教授	フジワラ タケオ 藤原 武男 災害後の親子のメンタルヘルスと支援の効果に関する実証研究 -東日本大震災後の親子5年追跡調査-	50
群馬	前橋赤十字病院 小児科医師	シヅケチ フシケ 溝口 史剛 虐待が疑われる小児の入院に際する、養育者の付き添い状況の調査 -児の安全を担保する際の問題の抽出と、適切な制度構築に向けて-	49
小計 13件 649万円			

### 2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金
埼玉※	早稲田大学 人間科学学術院 教授	カナ ハツコ 川名 はつ子 子ども主体の養子親制度に関する研究 -国連子どもの権利条約を基盤に据えた社会的養護の実現をめざして-	50
京都	立命館大学大学院 先端総合学術研究科 教授	タテイ シンヤ 立岩 真也 意思決定支援研究 -その現状を知り、可能性を探り、未来を展望する-	50
広島	県立広島大学 准教授	ニシタ' セイジ 西田 征治 認知症高齢者の興味ある活動を支援する技能の獲得を図る家族教育プログラムの効果	50
兵庫	聖和短期大学 准教授	ハタノ エイジ 波田 英治 災害時におけるマニュアルに関する調査研究 -児童養護施設における災害マニュアル実態調査及びマニュアル作成ための手引きの策定-	50
東京	東京大学大学院 総合文化研究科 特任助教	ホソノ マサト 細野 正人 障害者差別解消法施行による差別解消効果に関する考察 -法律施行後に全国対象大学調査を実施して-	50
山形	山形大学 特別支援教育臨床科学研究所 所長、教授	シラ コウヤ 三浦 光哉 犯罪・非行に至る発達障害児等に対する予防・更生への地域連携支援システムの開発	50
東京	お茶の水女子大学 講師	ワタナベ' リコ 渡辺 紀子 介護職の行動特性からみるリーダーシップの研究 -配慮型リーダーシップとエンゲージメントの関係性について-	47
小計 7件 347万円			
合計 20件 996万円			

※は団体申請

## 2017年度研究助成 テーマと助成額

### 1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者		研究テーマ	助成金
埼玉	埼玉医科大学総合医療センター メンタルクリニック 助教	イガラシ ヌリ 五十嵐 友里	「親子のがん教室」が親と子どもに与える影響 -がん患者である親と子どもにおけるがんへの適応に向けて-	20
兵庫	兵庫教育大学大学院 教授	イサワ シンゾウ 井澤 信三	職場における自閉症スペクトラム者の困難とその解決方法に関する研究 -特例子会社における当事者及び支援者へのインタビュー調査-	42
京都	京都西山短期大学 准教授	イトウ サヨコ 伊藤 佐陽子	場面緘黙児に対する不安軽減プログラムの実践的効果の検証 -マインドフルネス・プログラムを活用した介入効果-	50
東京	神経研究所 研究員	イトウ リカ 伊東 若子	ADHDと過眠症の新たな指標の解析 -脳波定量解析からみるADHDと過眠症の関係-	50
千葉	千葉大学 総合安全衛生管理機構 准教授	オオタニ トシユキ 大滝 俊幸	自閉症スペクトラム障害に対する治療的介入による効果と効果予測指標の開発について -予備的研究 -有効な治療選択を可能にするための試み-	50
和歌山	和歌山県精神保健福祉センター 所長	オノ ヨシロウ 小野 善郎	多様な生徒に対応する高校教育における精神保健支援ニーズの評価 -思春期の発達支援を担う教育実践モデルの検討-	50
東京	パナソニック健康保険組合 メンタルヘルス科東京担当部長	トミタ シンイチロウ 富高 辰一郎	大規模集団における抑うつ評価尺度の項目反応と総スコアの分布の数理的研究 -うつ症状の分布の数理的特性について-	50
福岡	九州大学大学院 人間環境学府 臨床心理士	ナカシマ ミズズ 中島 美鈴	集団認知行動療法の治療者評価尺度の作成	50
北海道	札幌国際大学 人文学部心理学科 教授	ナカノ シゲル 中野 茂	赤ちゃん間の共同注意と意図の読み取りの発達 -双子を含む赤ちゃんどうしの「見る-見られる関係」の観察から-	50
愛知	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 大学院生	ナカノ マミ 中野 まみ	ボンディング障害のリスク要因に関する妊娠初期から産後2年までの縦断的研究 -混合研究方法を用いて-	50
東京	国立成育医療研究センター 臨床心理士	ナギラ アキコ 柳楽 明子	思春期発達障害児の包括的支援の研究 -親子関係タイプ別の親支援の構築に焦点化して-	49
東京	慶應義塾大学 医学部 特任講師	ノダ ヨシヒロ 野田 賀大	高齢者の認知機能に関連した前頭前野の神経生理学的機序の解明 -高齢者のメンタルヘルスチェックアップに資する神経生理学的プロファイリング-	50
東京	大正大学 心理社会学部臨床心理学科 教授	モリオカ ユキコ 森岡 由起子	学齢期・中学生となった極低出生体重児のアセスメントと支援 -臨床的・フォローアップとNPOでの学習支援および学校コンサルテーション-	50
宮城	東北大学大学院 教育学研究科 准教授	ワカシマ コウブン 若島 孔文	臨床心理士と弁護士の連携による自殺予防対策の試み -全国調査に基づく弁護士の法律相談業務における相談者自死ケースの把握-	49
小計 14件 660万円				

### 2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者		研究テーマ	助成金
福島	福島県立医科大学 医学部公衆衛生学講座 講師	オホライ マサツグ 大類 真嗣	福島第1原子力発電所事故による避難指示解除後の地域精神保健福祉体制の構築に向けて -地域支援と家族支援のあり方の検討-	50
東京	東京都健康長寿医療センター 研究員	オカムラ ツヨシ 岡村 毅	高齢生活困窮者の効果的支援のための研究 -山谷地区の自立援助ホームに入居する高齢者の実態把握および支援経過の可視化の試み-	50
東京	東京福祉大学 専任助教	サトウ ユイ 佐藤 惟	人生の最終段階を生きるひとり暮らし高齢者の「死への準備」と希望 -自己決定社会における支援システムの構築に向けて-	48
東京	東京大学 先端臨床医学開発講座 特任准教授	ススキ ジュンイチ 鈴木 淳一	ヒト型ロボットによる認知症患者の生活機能改善効果の検討 -特別養護老人ホームにおける国産コミュニケーションロボットの有用性-	50
福島	いわき短期大学 教授	ススキ ミエコ 鈴木 美枝子	東日本大震災避難による「子どもの育て難さ」に関する検討 -いわき市と静岡市における保育現場の現状の比較から-	50
埼玉	尚美学園大学 総合政策学部総合政策学科 専任講師	タカハシ ユキヒロ 高橋 幸裕	訪問介護現場における利用者本位の看取りを実現するための支援体制構築に関する研究 -自宅での看取りを促進するための多職種連携に基づいたモデル構築に向けて-	50
小計 6件 298万円				
合計 20件 958万円				

## 2018年度研究助成 テーマと助成額

### 1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
東京	昭和大学発達障害医療研究所 講師	アオキ ユウタ 青木 悠太	ASD罹患者の感覚異常と社会性の関係のクラスタリング -質問紙・構造化面接・動画解析-	50
東京	慶應義塾大学 医学部 精神・神経科学教室 助教(専修医)	アライ ナオヒロ 新井 脩泰	低活動型せん妄の予測因子探索のためのメタボローム解析・脳波解析	50
静岡	浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター 特任助教	イワブチ トシキ 岩渕 俊樹	自閉スペクトラム症の認知神経機序に関する研究 -中枢性統合の観点から-	49
福岡	九州大学病院 総合周産期母子医療センター 臨床心理士	イワヤマ マリコ 岩山 真理子	NICU入院児と親の関係性構築支援にむけた早期介入支援 -新生児行動観察(NBO)法の母子間の情緒応答性に対する効果-	50
東京	東京大学大学院 医学系研究科 大学院生	ウスイ ユリコ 臼井 由利子	子どもへの愛着形成(ボンディング)に出産体験が及ぼす影響 -出産恐怖感尺度(W-DEQ日本語版)を用いた出産体験とボンディング障害との関連-	50
新潟	医療法人 志靖会 新潟こころの発達クリニック 理事長、院長	エンドウ タロウ 遠藤 太郎	子どものゲーム症に対する包括的介入研究 -地域中核的な医療クリニックでの大規模スクリーニングから集中的な心理社会的介入まで-	47
群馬	ラ・トローブ大学 (オーストラリア) 大学院生	カワシマ ヒロコ 川島 寛子	自閉スペクトラム症の早期発見の促進 -The Autism Detection in Early Childhood (ADEC) 日本語版の妥当性研究-	50
宮城	東北大学大学院 医学系研究科 大学院生	ケンモチ アサミ 剣持 麻美	父子家庭の父親に対するソーシャルサポートの内容と精神的健康との関連について	50
東京	桜美林大学 専任講師	コセキ シュンスケ 小関 俊祐	福祉型障がい児入所施設における包括的心理支援プログラムの開発 -入所施設という特徴を生かした日常に根差した支援方略の構築-	50
東京	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 研究生	ジキハラ ヤスツ 直原 康光	離婚を経験した同居親における面会交流の受け入れ等のプロセス及び規定要因等の検討 -父母として協力関係を構築するために必要な心理的支援の在り方を検討するために-	50
栃木	栃木県警察本部 刑事部科学捜査研究所 主任	ハギノヤ シュンペイ 萩野谷 俊平	日本語版面接者訓練強化ツール(EIT-JP)の効果検証 -臨床心理士を対象として-	50
東京	東京大学大学院 教育学研究科 大学院生	ハマナ マイ 浜名 真以	幼児期から児童期にかけての感情語彙の発達 -項目反応理論を用いた検討-	50
福井*	平谷こども発達クリニック 医師	ヒラタニ ミチオ 平谷 美智夫	ディスレクシアの疫学研究:幼児期から成人までの縦断的研究 -ディスレクシア生徒の中学生時代の問題 ~学習成績とメンタルヘルスの関連-	50
京都	京都大学 医学研究科 助教	マツウラ ヨシカ 松浦 喜貴	言語障害および言語発達遅滞患者に対するネットワーク型構音訓練システムの開発 -インターネットを介して構音訓練ツールを用いた在宅での言語指導支援の構築-	50
千葉	聖徳大学大学院 臨床心理学研究科 教授	ヤマグチ トヨカズ 山口 豊一	発達障害傾向の子どもへの教育・心理・医療によるアウトリーチ型協働支援モデルの構築のための基礎的研究	44
小計 15件 740万円				

### 2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
東京	ルーテル学院大学大学院 総合人間学研究科 大学院生	イケダ リコ 池田 紀子	児童虐待対応における学校から関係機関への連携開始判断への影響要因 -東北地区のスクールソーシャルワーカーを対象とした調査を通して-	31
岩手	岩手大学 教育学部 教授	ミキウラ テツ 表倉 哲	東日本大震災遺族の生の軌跡と心の復興に関する研究 -岩手県大槌町大震災遺族を対象とした学術調査-	50
石川	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校 教諭	ヨシオカ マナブ 吉岡 学	視覚障害児のための歩行訓練用石突の研究 -身体負荷の少なく、メンテナンスしやすい石突を求めて-	50
埼玉	埼玉医科大学総合医療センター メンタルクリニック 助教	ワケ タイセイ 和氣 大成	自覚的認知機能低下患者に対するアルツハイマー病発症前診断の心理的影響 -認知症の効果的な告知マニュアルの開発に向けて-	47
小計 4件 178万円				
合計 19件 918万円				

※は団体申請

## 2019年度研究助成 テーマと助成額

### 1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者		研究テーマ	助成金
大阪	関西医科大学 医学部小児科学講座 准教授	イシザキ ユウコ 石崎 優子	地域の小児科医にできる里親・養親支援の方策の確立 -『小児科医による里親・養親支援ガイド』の作成-	50
大阪	大阪医科大学 LDセンター 技術職員	オカムラ トモヒト 奥村 智人	発達障害におけるトレーニングアプリを用いた目と手の協応訓練の介入効果 -書字の流暢性と可読性の訓練前後比較-	50
鳥取	鳥取大学地域学部附属子どもの発達・学習研究センター 特命講師	キマ ヒロカ 儀間 裕貴	幼児期における運動能力と運動イメージ機能の関連	50
福井	福井大学 医学系部門 病態制御医学講座 教授	コサカ ヒロカ 小坂 浩隆	AIを用いた自閉症者の高次視覚野の身体の視覚処理に関わる脳活動の抽出 -年齢に依存しないバイオマーカーの確立を目指して-	50
福井	福井大学 医学系部門 精神医学 特命講師	シヨウ ショウ 丁 ミンヨン	機械学習(AI)と脳科学における自閉スペクトラム症の感覚評価システム開発 -「個性」として理解・臨床現場で応用すべきASD感覚的特徴の解明-	50
東京	目白大学 人間学部子ども学科 専任講師	ドウヤマ アキ 堂山 亜希	被虐待乳幼児の発達障害傾向について	50
茨城	筑波大学 医学医療系 教授	トクダ カツミ 徳田 克己	ゲームコーナーの音環境と光環境が子どもの身体的、心理的状态に及ぼす影響	50
東京	国立成育医療研究センター 研究員	ニシザト ミナホ 西里 美菜保	算数に困難がある小児の見積もり能力に関する研究 -ipadを利用した Number Line Task について-	49
東京	東京慈恵会医科大学附属第三病院 小児科 臨床心理士	マエダ エリ 前田 恵里	日本語版「食物アレルギー-QOL尺度」児童用の開発	46
山形	山形大学 地域教育文化学部 准教授	モトシマ ユウコ 本島 優子	父子間および母子間のアタッチメントと子どもの発達	50
愛知	名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 大学院生	モロオカ ユイ 諸岡 由依	乳児への歌いかけが母親の精神的健康に与える効果についての研究 -実用的な育児支援を目指して-	50
東京	大妻女子大学 人間関係学部 准教授	ヤマツタ ケイスケ 山蔦 圭輔	摂食障害予防のための心理教育プログラムの開発 -Body-imageの変容を目的とした認知行動療法的介入-	50
東京	東邦大学 医学部 助教	ヨシダ サチネ 吉田 さちね	抱っこ時に起こる乳児の行動生理変化の解析 -抱っこのセンシングから親子のコミュニケーションを考察する-	50
小計 13件 645万円				

### 2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者		研究テーマ	助成金
愛知	名古屋大学大学院 法学研究科 教授	イナバ カズマサ 稲葉 一将	不良な生活環境解消条例(ごみ屋敷条例)の執行状況分析 -医師の専門性と住民の民主性との協働-	46
埼玉	埼玉県立大学 准教授	センショウ マリコ 善生 まり子	障がいのある児・者と家族の健康と暮らしの多様性を支える社会的ネットワークの構造 -地域社会とのつながり・仲間づくりに関する自助・互助の課題-	50
長野	松本大学 教育学部 専任講師	ナイノウ チヒロ 内藤 千尋	発達困難を有する非行少年の発達支援と地域移行支援に関する調査研究 -少年院の在院者および退院者調査を通して-	50
群馬※	国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 研究部長	ヒツメ マサフミ 日詰 正文	障害者の地域生活における潜在的な要支援状況に対する現状把握に関する研究 -協議会等での現状把握の取り組みについて-	50
宮城	宮城大学 講師	ワタナベ アキコ 渡邊 章子	長期ケア施設における遺族となったアルツハイマー型認知症高齢者への支援	50
小計 5件 246万円				
合計 18件 891万円				

※は団体申請

## 2020年度研究助成 テーマと助成額

### 1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順(万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
兵庫	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 准教授	アキカ カズシク 赤木 和重	新型肺炎感染拡大下における放デイの実践内容の把握と職員のストレス症状 -インターネットを介した速報調査-	50
東京	国立精神神経医療研究センター精神保健研究所 知的発達障害研究部 研究生	ウエダ リョ 上田 理誉	後方離断術がもたらす薬剤抵抗性てんかん乳児の脳機能と発達の変化 -乳幼児のてんかん外科手術前後の神経学的予後・脳機能変化の客観的評価に 基づく検討-	50
香川	香川大学 教育学部 准教授	オオクボ トモオ 大久保 智生	小学生を対象とした万引き防止教育プログラムの開発 -法知識と認知行動に焦点を当てた教育の実践と効果の検証-	50
千葉	千葉大学 総合安全衛生管理機構 准教授	オオクニ トシユキ 大溪 俊幸	新型コロナウイルス感染拡大の影響と大学生活の変化が学生に与える影響と効果 的な支援 -経験のない状況の中で出現する精神症状や適応の問題と有効な学生 支援を行うための考察-	50
兵庫	関西学院大学大学院 文学研究科 大学院奨励研究員	カナヤマ ユミ 金山 裕望	養育者と子どもの関係性の改善を目指した遠隔心理支援 -遠隔親子相互交流療法の適用-	50
福井	福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授	スキヤマ トシロウ 杉山 登志郎	複雑性PTSD患者への簡易型トラウマ処理による治療の科学的判定 -TSプロトコールによる簡易型トラウマ処理を用いたRCT-	50
神奈川	あおきメンタルクリニック 医員	テラオカ ナオコ 寺岡 菜穂子	被虐待・ネグレクト乳幼児のトラウマ反応について -トラウマ反応の強さ、PTSDの発症率の検討-	50
兵庫	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 大学院生	ノガミ ケイコ 野上 慶子	発達障害児の不安症改善を目的としたオンライン形式の家族認知行動療法 (FCBT)の構築と有効性の検討 -母親の不安症状にも注目して-	50
北海道	北海道医療大学 リハビリテーション科学部言語聴 覚療法学科 准教授	ハンモト リュウサク 橋本 竜作	Sluggish Cognitive Tempo に関する小児版尺度の開発	50
長野	信州大学 総合医理工学研究科 大学院生	ハセガワ キョウコ 長谷川 京子	女性の発達障害特性と妊娠・出産・子育て期における困難についての検討 -周産期メンタルヘルスの観点から-	50
小計 10件 500万円				

### 2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
千葉	千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 教授	カタヒラ ノブコ 片平 伸子	看護小規模多機能型居宅介護におけるケアマネジメントの特性 -医療と介護の調和したケアの提供を目指して-	50
鳥取	鳥取大学 地域学部 准教授	セキ コウジ 関 耕二	活動制限が児童・生徒の生活習慣と体力発達に及ぼす影響について -鳥取県での新型コロナウイルス感染拡大の予防措置における事例研究-	50
北海道	北海道大学大学院 教育学院 大学院生	ナミオカ ユウ 溝岡 優	介護のあり方の世代間連鎖に関する研究 -親世代が祖父母世代の介護者になることは、子世代の介護の認識にどのような影 響を与えているのか-	50
神奈川	横浜市総合リハビリテーションセンター 研究開発課 主任(一級建築士)	ニシムラ アキラ 西村 颯	発達障害のある人の住まいの音に関する研究 -横浜市での実態把握と対応例の紹介-	50
愛知	名古屋産業大学 特任講師	マルオカトシノリ 丸岡 稔典	介護等体験が受け入れ施設の障害者・高齢者や特別支援学校の生徒に与える心 理的影響	50
栃木	国際医療福祉大学 専任講師	ミウラ ミエコ 三浦 美恵子	市区町村の教育委員会が外国人児童生徒の支援で直面する困難さに関する研究 -障害が疑われる外国人児童生徒の就学先決定において-	50
熊本	中九州短期大学 幼児保育学科 講師	ヤカベ ヨウイチ 矢ヶ部 陽一	中高年齢期のひきこもりにある人々の生活困難についての量的研究 -社会関係を阻害する要因と構造-	45
小計 7件 345万円				
合計 17件 845万円				